

平成 20 年度第 1 回学術情報ネットワーク運営・連携本部会議議事概要

1. 日 時 平成 20 年 6 月 19 日 (木) 13:30 ~ 15:30

2. 場 所 国立情報学研究所 22 階会議室

4. 議事内容

(1) 学術情報ネットワーク運営・連携本部委員の交代等について

坂内本部長から、学術情報ネットワーク運営・連携本部委員の任期を 1 年とする旨の報告があった。また、資料 2-1 に基づき、学術情報ネットワーク運営・連携本部委員の交代等について報告があった。

- ・ 東北大学サイバーサイエンスセンター長 川添良幸教授から小林広明教授
- ・ 名古屋大学情報連携基盤センター長 渡邊豊英教授から阿草清滋教授
- ・ 自然科学研究機構分子科学研究所 岡崎 進教授から斉藤真司教授
- ・ 情報通信研究機構大手町ネットワーク研究統括センター 下條真司センター長 (新規委員)

続いて、資料 2-2、2-3、2-4 に基づき、ネットワーク作業部会、認証作業部会、グリッド作業部会の各委員の交代等について紹介があり、次のとおり承認された。

- ・ ネットワーク作業部会
 - 高エネルギー加速器研究機構計算科学センター 川端節彌教授から苅田幸雄准教授 (オブザーバー)
- ・ 認証作業部会
 - 東北大学サイバーサイエンスセンター 後藤英昭准教授 (新規委員)
- ・ グリッド作業部会
 - 自然科学研究機構分子科学研究所 岡崎 進教授から斉藤真司教授
 - 大阪大学サイバーメディアセンター 下條真司教授から菊池誠教授

今後、学術情報ネットワーク運営・連携本部委員の増強を検討する旨の説明があった。

(2) 10GbE インタフェースの要望対応について (審議事項)

安達委員から、資料 3-1、3-2、3-3 に基づき、10GbE インタフェースの要望対応について報告があった。東京大学物性研究所と東京工業大学に 10GbE のインタフェースを提供する理由の説明があり、承認された。

(3) 今後の回線整備について

坂内本部長から、資料 4 に基づき、今後の回線整備について報告があった。現在の回線の利用状況を見て、増減速を検討する旨の発言があった。

(4) SINET 利用推進室発足後の新サービスの展開

NII の阿部 SINET 利用推進室長から、資料 5 に基づき、SINET 利用推進室発足後の

新サービスの展開について順調に増加している旨報告があった。これに関連して、坂内本部長から、研究教育がより進められるように、情報基盤センターや情報処理センターと連携して、サービスを実現し普及させていく旨の発言があった。また、産学連携のような社会貢献にかかる諸活動については SINET の利用を推進していく旨の発言があった。

(5) ネットワーク作業部会報告

安達委員から、資料 6 に基づき、ネットワーク作業部会の活動報告があった。現在、新サービスのモニターで試行しているネットワークサービスについて、正式サービス開始に向けて、引き続き検討していく旨の発言があった。また、次期ネットワークの検討に着手したので、将来、作業部会で議論していく旨の発言があった。

(6) 認証作業部会報告

岡部委員から、資料 7-1 に基づき、認証作業部会の活動報告があった。続いて、資料 7-2 に基づき、UPKI 認証連携基盤によるシングルサインオン実証実験について説明があった。平成 20 年 12 月末まで Shibboleth を用いたシングルサインオンの実証実験を NII の CiNii と無線 LAN ローミングの ID 発行を用いて行う旨の説明があった。続いて、資料 7-3 に基づき、平成 21 年度以降のサーバ証明書発行について説明があった。平成 21 年度から平成 24 年 3 月末までの 3 年間の時限付きで、新たに「サーバ証明書自動発行検証プロジェクト（仮称）」を発足させる旨の説明があり、承認された。また、現在の「サーバ証明書発行・導入における啓発・評価研究プロジェクト」は、平成 21 年 3 月末までの予定であるが、新プロジェクトへのスムーズな切り替えを実現するため、3 ヶ月延長して平成 21 年 6 月末で終了とする旨の説明があった。続いて、資料 7-4 に基づき、「サーバ証明書発行・導入における啓発・評価研究プロジェクト」の参加要領の改訂について承認された。

(7) グリッド作業部会報告

安達委員から、資料 8 に基づき、グリッド作業部会の活動報告があった。また、NII の合田教授から、阪大、東工大等の 6 機関が連携し、NAREGI ミドルウェアを用いて 50 テラフロップス規模の連携テストを行い、成功した旨の報告があった。

(8) 高等教育機関における情報セキュリティポリシー推進部会報告

曽根委員から、資料 9 に基づき、情報セキュリティポリシー推進部会の活動報告があった。今後、セキュリティポリシー普及のための活動を行っていく旨の発言があった。

(9) TEIN3 の動向と SINET アジア回線について

NII の山田教授から、TEIN3 の動向と SINET アジア回線について報告があった。平成 21 年度の SINET アジア回線は、香港、シンガポール回線の両方とも現状維持の 622Mbps で調達する旨の発言があった。

(10) その他

坂内本部長から、2008年7月15日(火)に東京大学小柴ホールで開催する「広帯域ネットワーク利用に関するワークショップ(ADVNET2008)」への参加をお願いしたい旨の発言があった。

- 以上 -